

健康社会研究センター ニューズレター 第 29 号

2013. 6. 30 発行

◆ 目次 ◆

- 1 主な研究成果発表
- 2 研究費・事業費採択のお知らせ
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1 主な研究成果発表

<論文等>

- ① Yukinobu Ichida, Hiroshi Hirai, Katsunori Kondo, Ichiro Kawachi, Tokunori Takeda, Hideki Endo: Does social participation improve self-rated health in the older population? A quasi-experimental intervention study *Social Science & Medicine*, in press
- ② 金森悟, 甲斐裕子, 鈴木佳代, 近藤克則: 連載 日本の運動疫学コホート (4) JAGES (Japan Gerontological Study, 日本老年学的評価研究). *運動疫学研究* 15 (1): 31-35, 2013. 3
- ③ 林尊弘, 近藤克則: エビデンスに基づいた転倒予防プログラムの実施状況と新規要介護認定者割合との関係. *総合リハビリテーション* 41 (4): 359-365, 2013. 4
- ④ 伊藤美智予, 近藤克則, 泉真奈美, 藤田欽也: 要介護認定データを用いた特別養護老人ホームにおけるケアの質評価の試み—11 指標群の作成と施設間比較—. *厚生指標* 60 (5): 14-23, 2013. 5
- ⑤ 白石成明, 近藤克則, 鄭丞媛: データマネジメントにおける連携. *Journal of Clinical Rehabilitation* 22 (5): 450-454, 2013. 5

<学会等>

- ① 近藤克則: シンポジウム 3 地域包括ケアシステムにおけるリハの役割〜こころの通う連携〜。「超高齢社会における地域包括ケアシステムとリハ医の役割: 臨床から地域・エビデンスづくりまで。」第 50 回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2013. 6. 15, 東京
- ② 近藤克則: 健康格差の実態, 生成機序, そして対策. シンポジウム「どうする健康格差と不平等」. 第 4 回プライマリ・ケア連合学会学術大会. 2013. 5. 18, 仙台
- ③ 坪井宏仁, 平井寛, 近藤克則: 地域社会における高齢者の抑うつ度とサポートの男女差. *日本心身医学会 中部支部地方会 第 71 回 地方会*, 2013. 5. 18, 藤田保健衛生大坂文種報徳會病院
- ④ 増野華菜子, 相田潤, 小坂健, 近藤克則: 仮設住宅居住の高齢者における, 低い外出頻度に関する関連要因の検討. 第 55 回日本老年社会学会, 2013. 6. 6, 大阪
- ⑤ 国際シンポジウム「災害下におけるソーシャル・キャピタルと健康」“Social capital and health in disaster” 2013. 5. 25, 東京大学本郷キャンパス
 - ・ Ichiro Kawachi: Social Capital and post-disaster resilience
 - ・ 澤田康幸: 災害とソーシャル・キャピタル
 - ・ 相田潤: 東日本大震災被災者の仮設住宅の入居方法

<講演等>

- ① 近藤克則: 高齢化と格差社会—高齢者の健康格差を考える. 明治学院大学 150 周年記念企画 社会学部学術講演会「激動の世界における日本の転換点 3」【少子・高齢・格差社会を越えて】2013. 6. 28, 明治学院大学

- ② 伊藤美智予：認知症の人と家族を地域で支えるために。三重県認知症ケア専門士会研修会，2013. 6. 29，三重
- ③ 近藤克則：講演「健康格差社会を生き抜く」支援—MSW の役割」，第 56 回北海道医療ソーシャルワーク学会「明日の医療福祉を拓く MSW の社会貢献」，札幌，2013. 4. 20
- ④ 近藤克則：ベンチマークによる健康格差の「見える化」と対策—JAGES HEART の開発。北海道大学大学院医学研究科 公衆衛生学分野特別セミナー。2013. 4. 19，北海道
- ⑤ 近藤克則：イギリス医療制度改革に学ぶ『見える化』とマネジメント。講座 No. 578 医療経済研究会，2013. 4. 16，東京

<その他>

- ① テレビ朝日「たけしの健康エンターテイメント！みんなの家庭の医学」にて JAGES プロジェクトの成果（歯と転倒）が紹介されました。2013 年 6 月 25 日放送
- ② 山本龍生：DATA PICK UP 歯の状態は認知症や転倒にも関連！へるすあっぷ 21 No. 345，2013. 7 にて AGES プロジェクト分析結果を紹介
- ③ 近藤克則：保健師ジャーナル 69 (5) : 386-392 (小林美紀：楽しく・無理なく・介護予防 地域と協働で進める「憩いのサロン」) 内でコメント。

2 研究費・事業費採択のお知らせ

- ① 厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）「介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究」平成 25～27 年度（H25-長寿一般-003：研究代表者 近藤克則）が採択されました。

<概要>

3 年間の指定研究【厚生労働科学研究費補助金（長寿科学総合研究事業）「介護保険の総合的政策評価ベンチマーク・システムの開発」（H22-長寿指定-008）】の成果を踏まえ、開発したベンチマーク・システムの機能強化を図り、活用事例を増やします。地域づくりによる介護予防を、漫然とではなく、戦略的に進めるため、ベンチマーク・システムを用いた地域診断によって、重点課題や対象地域の設定、地域づくりによる介護予防の good practice（優れた実践事例）の掘り起こしや収集、2013 年度に再度 10 万人規模の調査を行うことで 2 時点の縦断データを得て効果検証を進めます。

- ② 平成 25 年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）「日常生活圏域ニーズ調査データを活用した地域診断支援システムの開発に関する調査研究事業」（研究代表者 近藤克則）が採択されました。

<概要>

本事業は、横浜市と日本福祉大学が共同し、日常生活圏域ニーズ調査や既存の介護予防施策利用者の情報を活用し、GIS（地理情報システム）を活用して地図上に表示し、指標の地域間比較（ベンチマーク）もできる簡便な地域診断支援システムの開発などに取り組みます。

3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

・ JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

・ 7 月 JAGES 研究会

【日 程】7 月 28 日（日）時間未定

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス南館

・ 8 月 JAGES 研究会

【日 程】8 月 16 日（金）・17 日（土）

【場 所】未定

日本福祉大学
健康社会研究センター
<http://cws.umin.jp/>



名古屋市中区千代田 5 - 22 - 35
名古屋キャンパス北館 7 階
[Tel:052-242-3074](tel:052-242-3074)
Fax:052-242-3076

ニュースレター第 29 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-manami*n-fukushi.ac.jp
(泉)>までお知らせください(ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニュースレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、「『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向」(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。